

令和4年度 第1回 浜松中部学園運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年5月13日（金） 10時30分から12時00分まで
- 2 開催場所 浜松中部学園 会議室
- 3 出席委員 村井 秀行、藤野 直也、斎藤 正、神村 佳宏
木村 勝、河合 信人、成瀬 仁代、鳥居 浩幸
岡本 武士
- 4 欠席委員 三浦 一哲、大石 将和
- 5 学校支援コーディネーター 櫻井 康人
- 6 学 校 鈴木 伯（校長）、今明 薫（教頭）、袴田 暁広（教頭）
竹田 良子（主幹教諭）、井上 佐矢子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
 - （1）会長の選出及び副会長の指名について
 - （2）議長の選出について
 - （3）学校運営の基本方針について
 - （4）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 井上 佐矢子
- 11 会議記録

司会から、委員総数11人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

はじめに、校長よりあいさつがあり、続いて新規委員の任命が行われ、出席者が自己紹介を行った。

教育委員会から

学校運営協議会規則（第3，8・12・15条），学校運営協議会の自己評価について説明があった。

（1）会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、藤野委員から斎藤委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された斎藤委員から、村井委員、藤野委員を副会長指名する旨の報告があった。

(2) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、意見がなかった為、会長を候補として挙げ、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・地域との交流がない。元城、北、地域との関りが深かった。子供の学びに貢献していた。
 - ・コロナが収まったら地域とのかかわりを充実させて欲しい
 - ・進路指導 進学、就職に関する悩み、決めかねている生徒（8年くらい）に聞かせたい。
 - ・かつてはマンモス校だった中部中の中には様々な経験を持っている人がいる。地域とのふれあい、地域の立派な人たちの話を聞く機会を増やす。地域の大人の視点から話を聞くことが子供たちを育てる。(藤野委員)
 - ・コロナが収まり次第、地域との交流を増やしてほしいということ。判断ができる、目標に向かって頑張れる子を育ててほしいという願いだが、校長はどう考えるか(斎藤委員)
 - ・まずは見ていただくことから、子供たちが地域に出ていったり、来ていただいたりをしていきたい。(鈴木伯校長)
- 以上の協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

司会から、別紙資料に基づき説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・代表大石に対する意見として運営協議会から出す意見書なのか 夢をはぐくむ学校づくり推進協議会とは(斎藤委員)
- ・PTAの会長などが委員を務める。運営事務は学校。予算は教育委員会。教育委員会の事業としてかつてからあるもの(袴田教頭)
- ・キッズチャレンジビジネス。もう少し広げてやってもらいたい。(村井委員)
- ・これらの意見を追加してほしい。刈E1で発表会も行っている。地域に発表の場。いい機会。地域の特性を生かして(斎藤委員)
- ・“地域の特性を生かし、連携して” を付け加える(袴田教頭)

以上